

## 第 14 回就職支援検討委員会

### —海洋教育と人材確保—

6 月 6 日、福岡市博多区のリファレンス駅東ビル貸会議室で、船員教育機関と九州関門地方支部管内の担当各社が出席し、第 14 回就職支援検討委員会を開催した。この会議には、船員教育機関 8 校から 9 人、会社側 35 社から 48 人、九州運輸局から 2 人、海員組合執行部が 15 人の計 74 人が出席した。

はじめに主催者を代表して松本順一九州関門地方支部長から「この就職支援検討委員会は、平成 21 年から続けており、開催当初から船員不足は顕著であったが、現在はあらゆる産業で人材不足となっており、海陸で人材の奪い合いが始まっている。今回も情報を共有し、実務的な諸問題について意見交換を行い、官学労使で理解を深めたい」とあいさつした。

議事に入り九州運輸局海事振興部から、船員労働需給状況と運輸局の海洋教育および人材確保の取り組みについての報告があり、情報を共有しての意見交換が行われた。

今回の議事では、本組合が課題に関するアンケートを教育機関と各社に実施し、調査結果を集約し資料とした。

#### 学校側の意見

▽船員になりたいという目的意識を持った生徒が増えている。水産業の魅力を発信しながら生徒を募集していきたい。

▽長期休暇を利用し、インターンシップおよび体験乗船などができるよう学校側も力を入れている。

▽教員も不足しているため、各社からも教員を目指すよう協力いただきたい。

「海員だより」